



課長級・係長級・主任級・係員級の職員用

DX推進リーダー 養成講座受講者募集！

応募〆切
7/11(金)

こんな人は
ぜひ応募を！

- ・近い将来本市のDXをリードできる人材になりたい
- ・既に所属等でDXを進めた経験があり、さらにスキルを高めたい
- ・SE経験がある、基本情報処理技術者等の資格を有しているなど、既に一定のデジタル関係の経験や素養がある

01. 「DX人材育成プログラム」とは？

- 本市では、発展著しいデジタル時代に対応できる「**DX人材**」育成のため、令和7年度から令和11年度までの5年間に実施する研修内容等を定めた「[京都市DX人材育成プログラム2025-2029](#)」を策定しました。
- このプログラムでは、市長部局等全体の常勤職員を対象とした「全庁的なデジタル力の向上」に加え、率先してDXを推進できる人材として、**DX推進サブリーダー**、**DX推進リーダー**を重点的に育成する養成講座を毎年度実施することとしています。

02. DX推進リーダーに認定されるとどうなるの？

- **DX推進リーダー**養成講座では、次の「**DXスキル**」の習得を目指します。
 - ① DX推進の中心的役割を担うための高いマインド・リテラシー
 - ② デジタルを活用した大規模な業務変革を進めるための高度な実践力
 - ③ 個別のデジタルツールの基礎的な活用力* DXスキルの詳細は「[京都市DX人材育成プログラム2025-2029](#)」を参照
- 本養成講座修了者は、**DX推進リーダー**に認定されます。
目指す人物像：DX推進の中心的役割を担う人材
 - ① デジタルと業務変革のスキルを兼備
 - ② 所属内でのDX推進の取組をリード
 - ③ 庁内横断的なDX推進も実践
- **DX推進リーダー**認定者は、次年度以降、以下のとおり活動します。
 - ① **DX推進リーダー**養成講座で得たDXスキル等を生かし、日々の業務の中で、上記人物像に沿った職員として主体的に職務遂行
 - ② DX推進リーダー継続研修の毎受講（約5時間/年のe-ラーニング等）
 - ③ DXラボ+活動への参画（任意） *DXラボ+については次頁参照
 - ④ DX推進リーダーキャリア形成制度の対象に

DXラボ+

- ◆ DX推進サブリーダー・リーダーが相互に情報共有、自己研鑽等の活動を行う交流プラットフォーム。Teams上でテーマ毎にグループ等を形成して活動。
- ◆ DX推進リーダーは、DX推進サブリーダーと同様の活動に加え、デジタル化戦略推進室と連携しDX推進サブリーダーの活動の統括、庁内のDX推進への直接的な支援等にも参画

DX推進リーダーキャリア形成制度

- ◆ DX推進リーダーが、そのDXスキルやアイデアを最大限生かせ、やりがいを持って仕事に取り組めるよう、主体的なキャリア形成を支援する新たな人事異動の仕組み（詳細は今年度中に構築し、通知します。）
＊精度構築に当たり、「庁内公募制度」や「庁内ベンチャー制度」を参考とします。

03. DX推進リーダー養成講座の概要

- **対象者** 市長部局等の課長級以下の常勤職員で、以下のいずれかの該当者から選考で年10名程度まで

- ① DX推進サブリーダー認定者のうち
DX推進リーダーとなることを希望する者
- ② デジタル化戦略推進室又は各局区等の長が特に推薦する者

- **養成講座の受講時間数**
e-ラーニング約25時間 + 集合研修3.5日

R7はDX推進
サブリーダー
でなくても
応募可！

04. 研修科目

- 今年度の本養成講座の研修科目は以下のとおりです。e-ラーニングの受講方法は、受講希望者募集後、受講決定通知に添えて改めて通知します。

R7研修科目	実施方法
動機付け動画（仮称）	e-ラーニング (約25時間)
これだけは知っておきたいシリーズ (クラウドの基礎、IoTの基礎、AIの基礎、データ分析の基礎、データベースの基礎、RFI・RFPの基礎)	※時間数は、早送り機能等を使用せずに閲覧した場合の目安
データ・AIの戦略的活用	
DXを加速させるデザイン経営	

R7研修科目	実施方法
DXストラテジーの基礎	e-ラーニング (約25時間) ※時間数は、早送り機能等を使用せずに閲覧した場合の目安
未来志向で考えるストーリーテリング	
ビジネスリサーチとビジネスモデル設計	
顧客価値から考えるデジタルマーケティング基礎	
DX時代の課題解決！デザイン思考入門 実践編	
UXデザインの基礎	
発注者側に求められるプロジェクトマネジメント基礎	
エンジニア以外でも知りたいソフトウェア開発基礎	
プロダクトマネジメントの基礎	
発注者側に求められるプロジェクトマネジメント実践	
DXを推進する部門マネジメント	
DXを推進するための組織・人材・プロセス改革	
DX推進のための組織開発論	
Teams基礎編	
生成AIを活用したDX	
ローコードツール基礎編	
RPAツール基礎編	
オンライン申請ツール基礎編	
DXアイデアの発想と具体化	集合研修（11/12終日）
デザイン思考とプロトタイピング	集合研修（12/12終日）
要求定義とプロジェクト立ち上げ	集合研修（12/22終日）
フォローアップセッション	集合研修（2/4半日）

- DX推進リーダー養成講座受講者は、DXアソシエイト向け研修の全部、及び、DXマネージャー向け研修のうちe-ラーニング科目の受講義務を免除します。

05. スケジュール

7/11	受講希望者応募〆切	* 応募方法は下記05参照
7/下旬	受講決定通知	* 局区等労務担当を通じて通知します。
8/1～	e-ラーニング受講開始	
11/12	12/12	12/22
2/27	2/4	集合研修実施 (3.5日いずれも受講)
3/下旬	e-ラーニング受講期限 * 一部、集合研修までに受講が必要な科目があります。	DX推進リーダー認定 * 認定証・ステッカーを交付します

06. 応募方法

7/11
応募〆切！

受講について予め所属長等に了解を得たうえで、
応募〆切（7月11日（金））までに以下のWebフォームから応募してください。

応募フォーム

*上記フォームに入ろうとする際にMicrosoftのアカウントログインを求められた場合は、ご自身の
府外メールアドレスを入力してログインしてください。

- *デジタル化推進担当のインストラページからもフォームにアクセスできます。
- *希望者が受講上限（10名）を上回った場合、人事課において選考を行います。
- *本フォームへの応募をもって受講が確定するのではなく、
後日（7月下旬頃）別途通知する受講決定通知をもって受講が確定します。

07. Q&A

Q 来年度以降は、DX推進サブリーダー認定済の職員のみが、DX推進リーダー養成講座に申し込むことができるようになるのか

A そのように取り扱う予定です。今年度（令和7年度）については、DX人材育成プログラムに係る研修実施の初年度であることを踏まえ、例外的に広く受講希望者を募集しています。

Q 「希望者が受講上限（10名）を上回った場合、人事課において選考を行う」とあるが、落選した場合、DX推進サブリーダー養成講座に申し込むことはできるのか。

A 応募フォームにおいて、「落選時はDX推進サブリーダー養成講座を希望する」を選択した場合、自動的に同養成講座の申込者として取り扱います。

Q 全ての科目を年度末までに受講できなかった場合はどうなるのか。

A DX推進リーダーとして認定することはできません。

ただし、次年度以降改めて養成講座を受講する場合、未受講の科目を受講すれば認定を受けることができます。

Q e-ラーニングは一気にすべての科目を受講しなければならないのか。

A 本研修に係るe-ラーニングは、5～10分程度の単元ごとに細かく切り分けて閲覧できます。業務の隙間時間を活用して少しずつ受講することが可能です。

Q 在宅勤務中の受講は可能か。

A 可能です。「在宅勤務計画書兼実績報告書」に本研修受講の旨を記載のうえ、所属長に提出してから受講してください。

Q DX推進リーダー認定後、認定が解除はあるのか。

A 合理的な理由なく、2年連続でDX推進リーダー継続研修を受講しなかった場合等に認定が解除されます。（詳細はDX人材育成プログラムのp14を参照）

Q DXラボ+の活動への参画は必須なのか。

A DXラボ+の活動はあくまで任意ですが、DX推進リーダーについては、本市のDX推進の中心的な役割を担う人材であり、積極的にDXラボ+の活動に参画いただきたいと考えています。

また、デジタル化戦略推進室から府内のDX案件について直接支援を依頼することがあるほか、「DX推進リーダーキャリア形成制度」を利用しようとする場合、DXラボ+での活動実績が選考等の資料として活用されます。

お問い合わせ先

- 養成講座の受講に係る服務、集合研修当日の出欠に関すること
受講希望者の選考に関すること

行財政局人事部人事課 木村(祥)・木村(俊) 222-3050

- 具体的な研修内容、その他上記以外の事項に関すること

総合企画局デジタル化戦略推進室 原・橋本 222-3376